

大泉北小学校のグランドデザイン

【経営目標】

夢や目標をもち困難を乗り越える力を備えた子どもたちを育成し、新しい時代の求める学校を創る。

「学校教育目標」と「令和3年度重点目標」に向けて

【学校教育目標】社会変化に主体的に対応し、めあてに向かってすすんで学び、すすんで考え、すすんで行動する意欲と知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもった児童を育成する。

豊かな人間性 心豊かな子ども
人を思いやり、豊かなコミュニケーションにより、
すすんで仲よく活動する

『挨拶・返事、心で聴て、すすんで活動』
自分とともに他人を大切にす態度の育成

健康・体力 健康で根気強い子ども
命を大事にし、健康な心と体をつくる

『自分の身は、自分で守る』
健康教育・安全教育の充実

資質・能力の育成

よくかんがえる子ども・みんなと力を合わせる子ども
自分の考えをもち、挑戦意欲が高い

『言葉でつながる・人とつながる・心がつながる』
協働して 問題解決できる

「言葉の力」とは、
情報を正確に理解した上で相手の表現の意図や背景を推論し、根拠を挙げて自分の考えを述べ、話し合っ解決する力

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・「言葉の力」を身に付け、自ら考え判断し行動する。
- ・豊かなコミュニケーション能力を身に付け、多様性を力とする。
- ・心身の健康へ関心をもち、すすんで体力の向上を図る。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・言語能力や情報活用能力を伸ばし、創造的に問題解決できる。自己調整力を高め、学びを深めることができる。
- ・よりよい生活習慣の確立と学力及び体力の向上

児童の実態

- ・初めてのことへの挑戦意欲
- ・自己有用感 59%、自己肯定感 60%が肯定的回答
- ・読書への意欲の差が大きい。
- ・「自分の身は自分で守る」意識
- ・プログラミングに取り組んでいる。

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 多様性を力とする個別最適な学びの充実
- 特別支援教育の推進
- ICT教育による新しいことへの挑戦

目指す子どもの姿

- ・探究心に溢れ、笑顔で挑戦する。
- ・時間管理や片付けができる。
- ・読書により「言葉の力」を伸ばす。
- ・自分の身は自分で守る意識をもつ
- ・基本的な生活・運動習慣の確立
- ・学習道具を効果的に使える。

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・各教科等における言語能力の向上を柱に問題解決的な思考力・判断力・表現力等を身に付ける。
- ・人権教育年間指導計画の見直し、人権教育や道徳教育の推進
- ・学習したことや体験を生かし、自立した学習習慣を身に付ける。

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・ねらいの明確な授業で評価を工夫し、自己調整力を高める。
- ・「傾聴」を大切にして話し合う活動により、多様な考えを受け止める態度を身に付ける。
- ・「大北小スタンダード」及び「家庭学習ガイドライン」や「体力向上カード」、オンライン学習等を活用し、生活及び学習習慣を身に付ける。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

【教職員連携】①いじめのない、一人ひとりに居場所のある学年・学級経営 ②校内研究の充実 ③一部教科担任制

【地域を核とした連携】①保護者・地域と協働した学習習慣の確立 ②ICT教育の推進(一人一台端末の効果的な活用)

【カリキュラム連携】①教育資源の活用(情報センターとしての図書館等の利活用)②保幼小中の学びの系統性

安心・安全な学校づくり

【安全・安心な学校づくり】

- ・「自分の身は自分で守る」児童の育成(安全教育の推進)
- ・人権尊重教育を基盤とした言語環境の整備
- ・「新しい生活様式」と教育全般における安全対策

開かれた学校づくり

【家庭・地域から信頼される学校づくり】

- ・地域社会連携事業を強化し、多様な教育活動の精選と拡充
- ・積極的情報発信により学校経営方針及び重点内容の共有
- ・GIGA スクール構想実現に向け、学習環境整備と活用